

## 今後の教育活動について

2 学期も 2 週間が過ぎました。今年は残暑もそれほどでもなく、過ごしやすい気候が続いています。8 月 30 日（月）から今週の 9 月 10 日（金）まで知事要請を受け、甲斐市内の小中学校では分散登校を行ってきました。市教委と相談する中で、感染状況が収まりつつあることから、感染対策をこれまでと同様にしていく中で、9 月 13 日（月）からは市内 16 校で通常登校、通常授業を行っていくこととしました。山梨県ではまん延防止等重点措置は来週解除になりますが、未だ感染者数が高止まりの状態が続いています。生徒や保護者の皆様方におきましては、引き続き感染対策へのご理解とご協力をお願い致します。（毎日の検温、家族の健康状態も含めた健康チェック票の提出等）まさに、2 学期のスタートは、「前例なき日々」でした。（2 週間の分散登校でのスタートなど）しかし、こういうときだからこそ、私たちは「今」「ここ」で、できること、すべきことを精一杯やっていくことが大切なのではないでしょうか。これからも、与えられた環境の中でベストを尽くしていきましょう。



さて、2 学期の行事についてですが、3 年生の保護者には今週初めに通知させていただいたように、修学旅行については京都に緊急事態宣言が発出されていることから、方面（近距離）と泊数を変更し実施を考えています。（10 月 16 日～17 日 長野方面・山梨で宿泊）また、2 年生の宿泊学習（長野県・高遠）については、10 月 20 日～21 日に実施を、緑水祭については取組期間を確保したいと考え、他の行事との兼ね合いから、11 月 18 日（木）・19 日（金）へ変更し、実施を考えています。また中巨摩新人大会は 10 月 7 日（木）・9 日（土）開催の予定です。ここにあげた数々の行事は、生徒にとっては貴重な学びの場となります。これらの貴重な体験は、きっと感動や成長や学びを生徒たちに与えてくれることでしょう。生徒の貴重な学びの機会の確保と感染防止を両立させるために、このような変更をさせていただきました。ご理解とご協力をお願い致します。

また、9 月 7 日（火）・8 日（水）に通知させていただいたように、本日クロームブックの配信テストを行います。生徒が学校から持ち帰ったクロームブックを使い、家庭において双方向の受信ができるかどうかの確認を学級担任と行います。甲斐市では、これまでと同様の対面での授業を基本としていますが、今回の配信テストは学校が臨時休校になった場合などの有事に備えての取組となります。ご理解とご協力をお願い致します。今回の配信テスト後、13 日（月）には、クロームブックを学校に戻してもらい、授業等で引き続き活用していきたいと思っております。よろしくお願い致します。下記に始業式での各学年代表の生徒の決意表明を掲載しておきます。

2 学期は勉強と部活動の2つのことに頑張りたいです。私は陸上部に所属しています。県総体で入賞し関東大会に出場することができました。この経験は私にとって大きな財産となりました。100m ではスタートとランニングフォーム、走り幅跳びでは踏み切りと助走を意識して練習を行い、記録が更新できるようにしていきたいです。勉強も部活動も 1 学期以上に大変になり、苦しい時や辛いときは必ずあると思います。そんな時はあきらめないで、自分を信じて最後まで取り組んでいきたいです。2 学期には緑水祭があります。私たちにとって初めての行事ですが、一人一人が心と力を合わせ、学年や学級のみならずと団結を示したいです。そして、1 学期同様、笑顔の絶えない楽しい 2 学期にしていきたいです。（1 年 2 組 清水るいさん）

2 学期には、まず大きな行事として緑水祭があります。学級役員としてみんなを導き、クラスをまとめていければいいなと思います。また 2 学期には新人戦があります。日々の部活動に力を入れて取り組み、自分の力が最大限出せるようにしていきたいと思っております。勉強のほうも中間テスト、期末テスト、到達度検査でよい点がとれるように頑張っていきたいと思っております。最後に生活面をしっかりとしていきたいと思っております。2 年生という立場を意識し

て、1年生を引っ張り、3年生を支えていき、来年に活かしていければと思います。(2年2組 籠原遥真さん)

私は夏休み頑張ったことが2つありました。私たち吹奏楽部は「金賞・西関東大会出場」という目標を立てて日々の部活動に取り組んできました。時にはくじけそうになり、投げ出したい気持ちになることもありましたが、仲間と支え合い乗り越えてきました。本番では悔いのない演奏ができ、見事に目標を達成できました。もう一つは勉強です。私たち3年生は受験という大きな壁があります。私はこの夏が勝負だと思い、1、2年生の復習などの勉強に励みました。3年生の勉強は、1、2年生で学習したことが本当に大切なんだと実感しました。2学期が無事に迎えられるか心配だったなか、昨日の新聞で分散登校という記事が目に入りました。学園祭や修学旅行ができるのかすごく不安になりました。でも私たちに今できることは感染対策だけです。楽しい行事がある2学期、そして大切なテストがある大事な2学期。楽しいときと大事なときとのスイッチの切り替えをしっかりとやり、西関東大会や緑水祭の練習にも全力で頑張りたいと思います。(3年3組 臼井真希さん)

2学期は緑水祭があります。今年はブロック競技などもあり、一段と全校生徒の絆が深まると思います。よい緑水祭にするためクラス、学年、各部門で協力していきましょう。しかし、コロナウイルスの感染拡大が続いているため当初の予定から11月に変更になりました。生徒会最大行事である緑水祭を開催するために、新型コロナウイルスの感染症対策の徹底を心がけてください。文化部門での合唱、体育祭での競技、みなさんが楽しめる緑水祭を全校生徒全員で作りあげていきましょう。協力お願いいたします。(3年2組 大勝巧貴さん)

## 子育て談話室③～ほめることができないのはなぜ～

シリーズ3回目です。今回は『ほめる』についてです。『ほめる』というのは、「おだてる」とか「おべんちゃらを使う」とか「甘やかしている」というようなことではなく、『認める』と言った方がわかりやすいかも知れませんね。「がんばりを認める」「努力を認める」「成長を認める」といったことで、誰でも一生懸命にやったことを認めてもらえればうれしいはずですが、逆に、一生懸命にやっているのに厳しいことばかり言われたらいやになってしまいます。以前、学校だよりもお伝えしましたが、お子さんに対して「美点凝視中心」を心がけていきましょう。

今日は、ちょっとみなさんと【ほめることができないのはなぜ?チェック!】をしてみましょ。う「そういえばほめてないなあ」という方、なぜ、なかなかほめることができないのか、みなさんにあてはまるものがありますか。

### (1) そもそも「ほめる」「認める」ことに意味はないと思っている

ほめることには大きな意味があります。ほめられ続けると自分で自分の事が好きになります。自分を大切にできる人は、他者も大切にします。

### (2) 悪いところばかりが目について、ほめるところがない

以前にも書きましたが、何も意識しなければ、人は悪いところが目につくようにできています。意識してほめるポイントを探しましょう。また、こうすれば他者からほめられる、認められるという、人として大切なことを教えてあげましょう。ほめられた経験が豊富な人は、ほめ上手になります。ほめ上手な人は他者から好かれます。

### (3) この年齢なら、ここまでできて当たり前というように、自分の中に一定のレベルがあり、それを基準にして、それより低いところが目につく

他人と比べることだけで評価され続けると誰でもつらいです。もちろん、それが必要なことも世の中にはあります。でもそれだけで人が育つでしょうか?相手を大切だと心から思い、その人の成長を心から喜んであげることが、人を育てることだと思います。他人との競争ではなく、自分で自分を磨き続けられる人にしてあげたいですね。

### (4) ほめようとして見ていない 聞いていない

ほめようとして意識してお子さんと接しましょう。ほめようとして話を聞きましょう。まず「よし、ほめるぞ!」という構えをつくるのが大切だと思います。これも大切な修行だと私は思っています。

### (5) 自分自身に人をほめるポイントの引き出しが少ない どこをほめていいかわからない

ほめるポイントを見つけるには修行がいります。「当たり前」と思うことを問い直してみましょ。いろいろな人のほめるところを見て引き出しを増やしましょう。「ありがとう」は「ほめる」ことの基本です。「ありがとう」という言葉を意識して使いましょ。ついつい忘れてしまう『ほめる』『認める』ということ。玉幡中では保護者も私たちも大切にしていきたいですね。